

浜松地域の経済動向

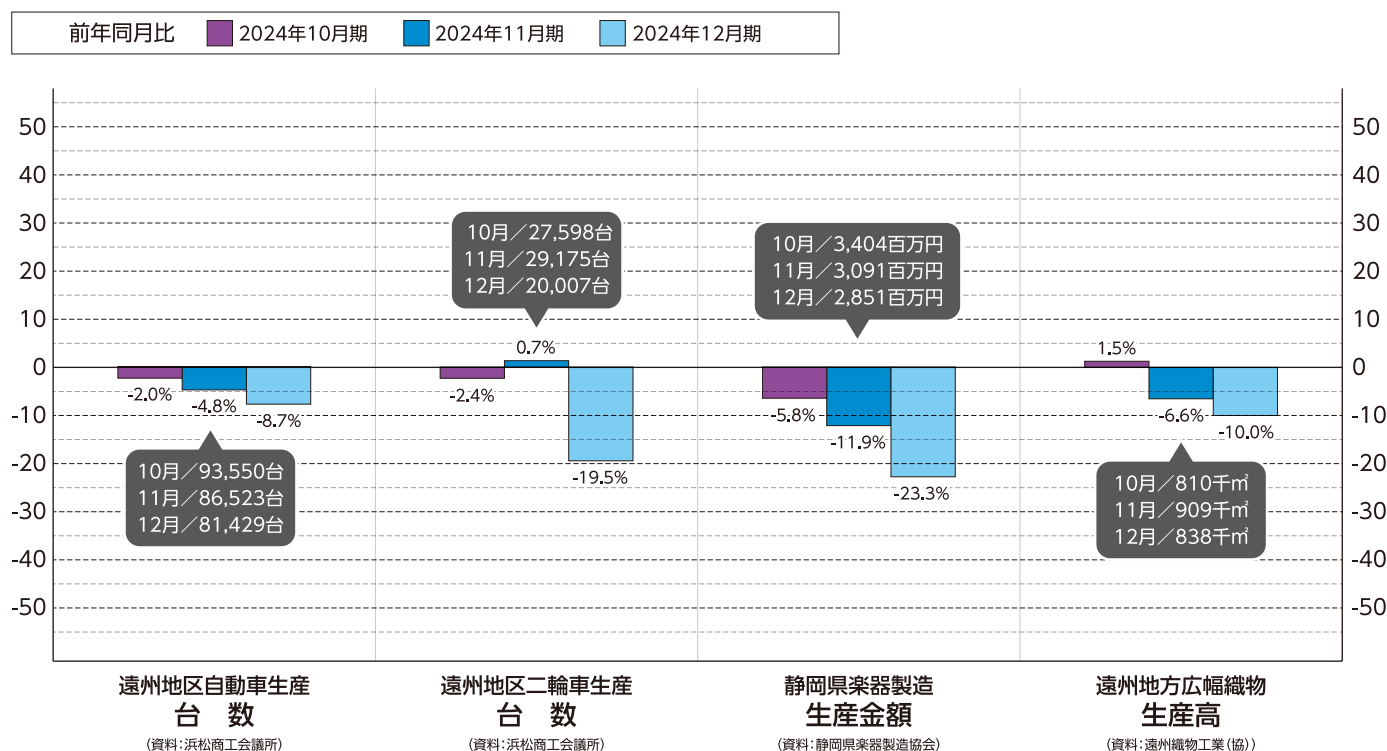
2024年
12月を中心に

製造業は自動車生産台数が5カ月連続で前年比減少。

非製造業では新設住宅着工件数が大幅な減少となった。

自動車の12月生産台数は、国内向けが3カ月ぶりに減少し輸出向けは5カ月連続で減少となった。二輪車は、国内向けは堅調に推移するも輸出向けが4カ月連続で減少している。楽器は、3カ月ぶりに生産金額30億円を割り込み7カ月連続で前年同月を下回った。タクシー乗車人員は、忘年会による需要もあり前年並みで推移、ホテルの稼働率はインバウンド堅調に推移し2カ月連続で60%台だった。住宅着工件数は、2006年1月の調査以来初めて200戸を下回った。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年12月における遠州地区の自動車生産台数は前年比8.7%減の8.1万台となり、5カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は0.8%増、小型四輪車は25.5%減、普通自動車は63.4%減となっている。国内向けは5.7%減で3カ月ぶりの減少、輸出向けは19.4%減で5カ月連続の減少となっている。輸出もしていた小型車の生産終了の影響が続いている。

二輪車



2024年12月における二輪車生産台数は前年比19.5%減の2.0万台となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。国内向けは36.6%増と2カ月連続で増加したが、輸出向けは22.9%減と4カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下が20.3%増、51cc～125cc以下が3.7%減、126cc～250cc以下が27.7%減で、251cc以上は23.2%減と5カ月連続で減少した。

楽器



2024年12月における楽器生産金額は前年比23.3%減の28.5億円となり、3カ月ぶりに30億円を下回り、7カ月連続で前年同月を下回った。引き続き中国経済低迷の影響を受けてピアノ販売が低調に推移。ピアノ生産高は前年同月比40.7%減で5カ月連続の30%以上減少となっている。その他の分野別生産高は、電子・電気ピアノ73.8%増、電子オルガン29.5%減、管楽器15.0%減となっている。

繊維



2024年12月の生産高は前年同月比10.0%減の838千㎡となり、2カ月連続で前年同月を下回った。今春夏衣料向けの生地が生産がほぼ終了し、盛り上がり欠けた生産シーズンとなった。コロナ禍で廃業した工場もあり、遠州産地の生産規模の縮小しているため、数量や納期などの要望に応えることが難しくなっている。このような状況が続けば、海外の工場に受注が流れることも懸念される。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年12月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比0.3%増の32.5万人となった。12月は忘年会シーズンで需要が旺盛となる中、タクシー運転手数が、前年比11%程度増えているのが功を奏していると思われる。

観光

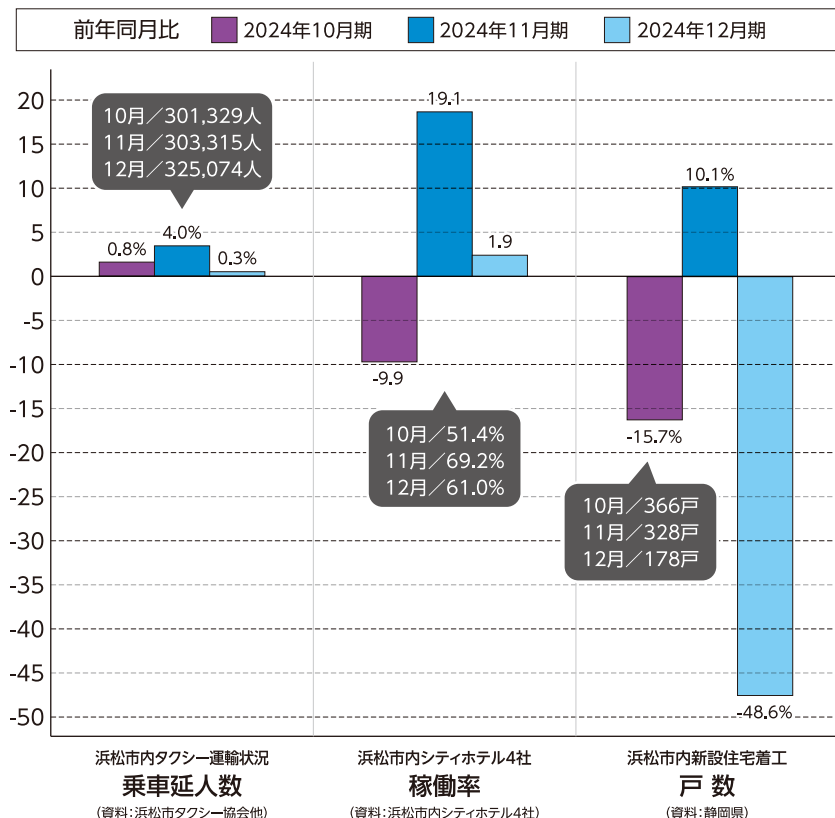


2024年12月の浜松市内ホテルの稼働率は61.0%であり、2カ月連続で60%台であった。団体客ではインバウンド・募集ツアーが堅調であったが、個人客は観光・ビジネスとも伸び悩む傾向が続いている。

住宅着工



2024年12月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比48.6%減の178戸となり、2006年1月の調査以来初めて200戸を下回った。内訳をみると、持家は113戸、貸家25戸、分譲住宅40戸となり、前年同月比でみると、持ち家が26戸減少、貸家が66戸減少、分譲住宅が75戸減少とすべて減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年12月の有効求人倍率は前年同月比0.15ポイント下降の1.30倍となった。全国(1.25)との比較では0.05ポイント、静岡県(1.08)との比較では0.22ポイント上回っている。前月比でみると静岡県の有効求人倍率は0.02ポイント下降したが、浜松市は0.07ポイント上昇と求人が増加している。

倒産企業



2024年12月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は43件で前年同月比1件減少、金額は6.5億円で3.2億円の増加となった。原材料費やエネルギー価格の高騰が中小零細企業の資金繰りを圧迫している。特に飲食業は、小麦粉を含む原材料費の高騰に加え、人手不足・人件費の増加による経費の増加、さらに新型コロナウイルス感染症の影響で消費行動の変化により倒産件数が増えている。

ガソリン価格



2024年12月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.8円で前年同月比0.4円の増加となった。ガソリン補助金は12月19日から5円程度縮小され、12月後半は小売価格の上昇につながった。ガソリン価格の上昇は消費や物流に与える影響が大きく、輸送コストの増加は物価の上昇や経済活動の停滞にもつながる恐れがある。

外国為替



2024年12月の外国為替は1ドル156.49円で、前年同月比12.42円の上昇となり、円安となった。前月との比較でも2.77円上昇し、3カ月連続で円安となった。150円超は2カ月続いている。

